

個人結果活用！マイプランシート

年 組 氏名：

模試の結果からあと〇〇点伸ばすか考えよう！



記入しよう

①第一志望校の判定と「あと何点」を記入しよう。

②今回の点数を記入しよう。

キミの今の判定は…

③教科ごとに今回の判定の一つ上の判定まであと何点かを記入しよう。

④ここには③「次の判定まであと何点」を参考にどの教科で何点伸ばすか

をもとに、次の模試の目標点を記入しよう。

<第一志望校>

大学

学部

学科

方式

一つ上の判定までは

記入しよう

あと 点が必要となる

教科	国語	数学	英語	合計
②今回の結果				
③次の判定まであと何点？				
④次の模試の教科ごと目標点は？				

STEP2

学習の優先順位を決めよう！



⑤STEP1の「どの教科で何点伸ばす？」を参考に、教科科目の優先順位を決めよう。

⑥個人成績表の▼がついている分野（＝対策が必要なところ）を参考に優先的に取り組む分野を記入しよう。

⑦優先的に取り組む教科や分野を決めたら具体的に何をして高めるか記入しよう。勉強法に迷ったら、裏面の先輩たちの勉強法を参考にしてみよう！

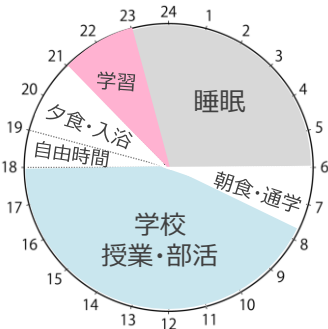
優先順位	①	②	③
⑤教科・科目			
⑥どの分野を優先的に取り組む？			
⑦具体的に何をして高める？			

STEP3

1日の学習時間とタイムスケジュールを決めよう!



例) MARCHに現役合格した
Aさんの平日

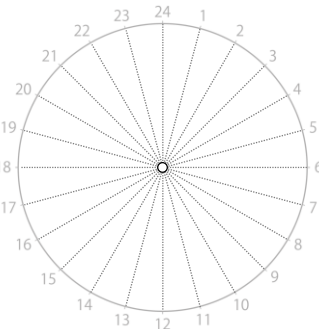
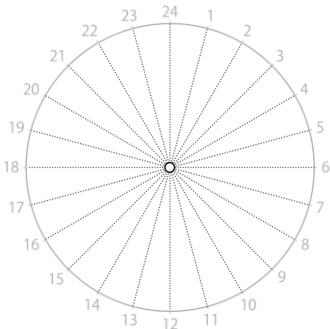


平日の目標時間

時間

休日の目標時間

時間



POINT!

学習「開始」時間を固定すると勉強が習慣化しやすい!

Column

先輩のオススメ! 模試復習法

国語

現代文長文読解のポイント

現代文では、長文を解くことが多くなり、内容も難しいのですが、私はいくつかのポイントを意識しながら勉強するように努めました。

1つ目は、指示語が出てくると、それが何を指しているのかを考え、当てはまる箇所に線を引きました。

2つ目は、段落ごとのキーワードやポイントとなる語をその段落の上にメモ程度書きとめました。

3つ目は、「つまり」や「要約すると」などの接続後に注目することです。なぜなら、この接続後の後の文章はその段落や文章の要点をまとめ、筆者の出張が表れていることが多いからです。これらをするだけで、文章が理解しやすく、段落ごとの内容を何度も読み返さなくても把握できるようになりました。答え合わせをし、間違えた個所は「何が間違えていたのか」「その答えになる根拠の文は何か」を確認することを忘れずにします。これを繰り返していくと、文章が読めるようになりました。

数学

発想の引き出しを増やす

模試の解説を読み、自分が間違えたポイントや思い付きもなかった解法などを、ノートにまとめておいた。

それを模試の前などに定期的に見直した。こうすることで、同じ間違いを防ぐことができるうえ、発想の引き出しを増やすことができ、応用問題で道筋を考える力が身についた。この方法をやるときは、単に書くだけでなく、なぜ間違えたのか、どこからが思いつかなかったのかをはっきり書いておくべき。

英語

模試の解説で単語暗記

模試の解説には難しい単語が日本語と一緒に載っているので、まずその単語で分からないものを辞書で引き直しマーカーをひいて、その単語をノートに書いて、単語帳を作りました。同じ単語がまだ覚えてなくてわからなかった時は、もう1回辞書で引いて別の色で線を引いて、辞書がカラフルになるまで何回も引き直しました。そのうちだんだん覚えて良かったです。また長文の問題は日本語訳を照らして、実際1回自分で訳す力がつくと思います。

詳細はマナビジョンで!
他教科の勉強法や大学レベル別
お勧め勉強法も探せるよ!



キミに合った
勉強法を
見つけよう!

